

# 疑わしい取引の届出における入力要領

平成23年10月

JAFIC: Japan Financial Intelligence Center  
警察庁刑事局組織犯罪対策部犯罪収益移転防止管理官

## 目 次

<b>1 届出時の留意事項</b>	
(1) 正確な入力	3
(2) 届出書の作成単位	3
(3) 届出書の入力要領	3
(4) 関連資料の添付	3
<b>2 届出票(別記様式第1号)、口座等情報(別記様式第2号)、取引内容(別記様式第3号)の入力要領</b>	
(1) 届出票(別記様式第1号)	4
【届出年月日】	4
【事業者名】	4
【代表者名】	4
【届出番号(年)】	4
【届出番号(番号)】	4
【部署名・営業所・代理店等名称】	5
【役職、担当者名】	5
【本店所在地(郵便番号)、本店所在地】	5
【営業所・代理店等所在地(郵便番号)～内線番号】	5
【「氏名(法人名)」「フリガナ」「通称・異名等】	5
【個人・法人の別～在留資格】	8
【電話番号1～3】	8
【電子メールアドレス等1～2】	8
【郵便番号、住所、ビル名等】	8
【届出理由】	10
【捜査機関等からの照会の有無、ガイドライン番号】	11
【備考】	11
<b>届出票(別記様式第1号)ビュー</b>	12
(2) 口座等情報(別記様式第2号)	13
【顧客等の本人確認欄】	13
【代表者・取引担当者・代理人・その他関係者の本人確認欄】	15
【継続的取引関係に関する事項欄】	16
<b>口座等情報(別記様式第2号)ビュー</b>	17
(3) 取引内容(別記様式第3号)	18
【重要取引】	18
【取引年月日】	18
【当該取引の取扱店】	18
【当該取引に関する情報】	18
【預貯金口座・クレジットカードを利用して行われた場合】	19
<b>取引内容(別記様式第3号)ビュー</b>	20

## 1 届出時の留意事項

### (1) 正確な入力

ア 各欄の入力事項は、「2 届出票(別記様式第1号)、口座等情報(別記様式第2号)、取引内容(別記様式第3号)の入力要領」を参考にして正確に入力してください。

イ 「届出票(別記様式第1号)」の「顧客等に関する情報」欄や「口座等情報(別記様式第2号)」の「顧客等(個人・法人)の本人確認」欄の記載には特に留意してください。本人特定事項に誤りがあると他の情報との整合性がなくなってしまいます。

### (2) 届出書の作成単位

ア 取引の相手方(顧客等)ごとに作成してください。

イ 代表者は同一でも社名が異なる場合、個人が取引ごとに別々の屋号を用いている場合など、取引の名義が異なる場合はそれぞれ別個に届け出るようお願いします。

一方、同一名義で複数の支店で取引があった場合は1つの届出でお願いします。

### (3) 届出書の入力要領

「2 届出票(別記様式第1号)、口座等情報(別記様式第2号)、取引内容(別記様式第3号)の入力要領」を御覧ください。

なお、届出作成プログラム利用の場合、コンボボックスから選択して入力する項目はコンボボックスから選択していただきますが、コンボボックス内に合致するものがない場合は、直接入力をお願いします(特定事業者名称、本支店名称等)。「取引内容(別記様式第3号)」の「取引形態」等の項目で、表示されたコンボボックス内に合致するものがなく、直接入力もできない場合は、コンボボックス内の「その他」又は「不明」を選択してください。

### (4) 関連資料の添付

ア 関連資料は、疑わしい取引に関する情報を整理、分析する際に非常に役立ちますので、取引状況・取引内容が判明する資料、届出理由の裏付けとなる資料、届出以前の取引に関する資料、面接記録等の参考資料の写しの添付をお願いします。

参考資料の実例としては、本人確認資料、顧客台帳、売買契約書類、取引明細・伝票、登記簿謄本、手形・証券類、鑑定書・鑑別書・保証書等、応接記録、新聞、雑誌の切り抜き等です。

イ 関連資料の原本を提出することのないよう、気を付けてください。

ウ 関連資料の写しは極力鮮明な文字・画像での添付をお願いします。

エ 銀行届出印は分析に用いていないので、資料の写しにある場合は塗り潰してください。なお、訂正印を塗り潰すことにより訂正後の文字が見づらくなる場合、当該文字を余白に記載してください。

## 2 届出票(別記様式第1号)、口座等情報(別記様式第2号)、取引内容(別記様式第3号)の入力要領

入力要領を参照の上、ルールに沿った入力をお願いします。

(注：緑字は全角とするもの、青字は半角とするものを表す。)

### (1) 届出票(別記様式第1号)

当該届出様式は、疑わしい取引を認知した事業者の名称等及び疑わしい取引であると判断した理由並びに疑わしい取引を行った顧客等の氏名、生年月日(設立年月日)、住所、電話番号(連絡先)等を入力するものです。

#### 【届出年月日】

届出年月日の入力に当たっては、年は西暦を使用し、月、日が1桁の場合は頭に「0」を付し、年月日を「/」(スラッシュ)で区切ってください(すべて半角)。

なお、届出年月日の年と「届出番号(年)」欄の年は一致させてください。

#### 【事業者名】

「届出特定事業者情報」(メニューバーの「ツール」から「設定」を選択すると表示)として入力された内容が初期値として設定されます。設定されない、又は違う事業者名が設定される場合は、「届出特定事業者情報」を確認してください。

#### 【代表者名】

事業者の代表者名(社長、取締役等)を入力してください。

「届出特定事業者情報」として入力された内容が初期値として設定され、以降は入力の必要がありません。入力の際は、必ず姓と名の間に**全角スペース**を挿入してください。

なお、既に「届出特定事業者情報」として入力したもののの中に姓と名の間に**全角スペース**を挿入していないものは、訂正をお願いします。

#### 【届出番号(年)】

届出年は、西暦を4桁の**半角数字**で入力してください。

また、届出年は年度ではなく、暦年ですので注意してください。

#### 【届出番号(番号)】

当該暦年における一連番号を6桁の**半角数字**で入力してください。

なお、届出番号が重複することのないよう留意してください。

### 【部署名・営業所・代理店等名称】

疑わしい取引を認知した支店等の名称を支店検索ボタンを押して表示される支店検索画面から選択し、該当支店等が表示されないときは手入力してください。

### 【役職、担当者名】

疑わしい取引の届出を担当する役職名と氏名を入力してください。ただし、届け出された内容について照会させていただくことがありますので、対応のできる本店の担当者氏名等を入力してください。

なお、当該欄も「届出特定事業者情報」として入力された内容が初期値として設定されますが、入力時に姓と名の間には**全角スペース**を挿入していないものは、訂正をお願いします。

### 【本店所在地(郵便番号)、本店所在地】

「届出特定事業者情報」として入力された内容が初期値として設定されます。

なお、「届出特定事業者情報」として入力されたものの中に、住所(所在地)が丁目、番地、号で入力されていたり、数字が半角で入力されているものが散見されますので、「丁目」、「番地」、「号」の表記はせず、**全角マイナス**で繋ぎ、**英数字は全角**に訂正をお願いします。マイナスは、-(長音記号)、(ダッシュ)ではなく、-(全角マイナス)を使用してください。

支店、代理店、顧客、関係者の住所(所在地)についても同じです。
---------------------------------

### 【営業所・代理店等所在地(郵便番号)～内線番号】

疑わしい取引の届出を行った本店等の郵便番号、住所(所在地)及び届出を行う担当者の電話番号(内線があれば内線番号)を入力してください。(届け出された内容について、照会をさせていただくことがありますので、対応のできる担当者の電話番号、内線番号を入力してください。)

なお、郵便番号、電話番号(内線番号含む)は**半角数字**で、住所(所在地)はすべて**全角文字**で入力し、「丁目」、「番地」、「号」の表記はせず、部屋番号等は全角マイナスで繋いでください。

### 【「氏名(法人名)」「フリガナ」「通称・異名等】

顧客等の氏名を入力し、氏名にフリガナ(**半角カタカナ又は英字**)を付してください。当該顧客等に通称名、異名あるいは漢字表記は同じでも読みが異なる場合等は、「通称・異名等」欄に入力してください。

## 【入力例】

【(本名のみの場合): 銭洗太郎の例】

フリガナ	ゼニアライ タロウ	(半角スペースを挿入)
氏名(法人名)	銭洗 太郎	
フリガナ		(全角スペースを挿入)
通称・異名等		

【(通称、異名がある場合): 銭洗一郎の例】

フリガナ	ゼニアライ タロウ
氏名(法人名)	銭洗 太郎
フリガナ	ゼニアライ イチロウ
通称・異名等	銭洗 一郎

屋号付個人の場合は、屋号を除いた氏名についても、「通称・異名等」欄に入力してください。

【(屋号を含んだ場合): マネロン商事銭洗太郎の例】

フリガナ	マネロンショウジ' ゼニアライ タロウ	(半角スペースを挿入)
氏名(法人名)	マネロン商事 銭洗 太郎	
フリガナ	ゼニアライ タロウ	(全角スペースを挿入)
通称・異名等	銭洗 太郎	

外国人等で、漢字表記の他にアルファベット表記も判明している場合には、アルファベット表記を「氏名(法人名)」欄(又は「通称・異名等」欄)に、漢字表記を「通称・異名等」欄(又は「氏名(法人名)」欄)に入力してください。なお、「フリガナ」欄は、アルファベット表記又はカタ

カナ表記で入力してください。

アルファベットで表記する場合には、漢字ごとに**全角スペース**を入力し、漢字表記の場合は、姓と名の間に1つ**全角スペース**を入れてください(「フリガナ」欄の**スペースは半角**)。

なお、アルファベット表記は、**全角大文字**、**半角大文字**で入力してください。

【(アルファベット表記の場合)の入力例】

フリガナ	ZANG MEI LI	(半角スペースを挿入)
氏名(法人名)	ZANG MEI LI	
フリガナ	チョウ ビレイ	(全角スペースを挿入)
通称・異名等	張 美麗	(全角スペースを挿入)

法人名等を入力する場合、いわゆる前株、後株の表記の違いで入力方法が異なります。また、「フリガナ」欄には「カブシキガイシャ」「ユウゲンガイシャ」等の入力はしないでください。

【(法人名を入力する場合):株式会社マネロン商事(前株の場合)の入力例】

フリガナ	マネロンショウジ	(カブシキガイシャは入力しない)
氏名(法人名)	マネロン商事 / 株式会社	前株の場合は、法人名の後に「/」(全角スラッシュ)、を入力し、その後に株式会社を入力
フリガナ		
通称・異名等		

【(法人名及び支店名を入力する場合):株式会社マネロン商事 霞ヶ関支店(前株)の入力例】

フリガナ	マネロンショウジ カスミガセキテン	(半角スペースを挿入)	カブシキガイシャは入力しない
氏名(法人名)	マネロン商事 霞ヶ関支店 / 株式会社	前株の場合は、法人名及び支店名の後に「/」(全角スラッシュ)を入力し、その後に株式会社を入力	
フリガナ	マネロンショウジ		(全角スペースを挿入)
通称・異名等	マネロン商事 / 株式会社		

【(法人名を入力する場合) : マネロン商事株式会社(後株の場合)の入力例】

フリガナ	マネロソウジ	→ (カブシキガイシャは入力しない)
氏名(法人名)	マネロン商事株式会社	→ (そのまま入力)
フリガナ		
通称・異名等		

上記例は、株式会社の場合を記載していますが、この他、「有限会社」「社団法人」「財団法人」「医療法人」等の場合も上記例に準じて入力をお願いします。

漢字名、英字名そのものは判明しないが、読み方だけが判明しているような場合は、「フリガナ」欄にフリガナだけ入力し、「氏名(法人名)」欄にはフリガナは入力しないでください。ただし、外国人、法人名等で、本人確認資料にカタカナの表記しかない場合は、「氏名(法人名)」欄にも、本人確認資料上のカタカナを入力してください。

また、顧客等の氏名(法人名)が全く判明しなかったケースでも、届出が必要と判断される場合には、「フリガナ」欄に「フメイ(半角カタカナ)」とだけ入力し、「氏名(法人名)」欄は空欄のままとしてください。

【個人・法人の別～在留資格】

個人・法人の別、性別、国籍及び在留資格はコンボボックスから選択できますが、生年月日(設立日)は、「届出年月日」と同じ方法により入力してください。

国籍が日本の場合、在留資格は空欄のままで結構です。

【電話番号1～3】

電話番号は3件まで入力することができますので、自宅電話、携帯電話、勤務先電話等を半角数字と半角マイナスで入力してください。なお、4件以上入力する場合には、「口座等情報(別記様式第2号)」を使用してください。

【電子メールアドレス等1～2】

顧客等又は顧客等が勤務先等で利用している電子メールアドレスやインターネットのアドレス等を入力してください。

【郵便番号、住所、ビル名等】

当該欄は、郵便番号は半角数字(半角マイナスで繋ぐ)で、住所、ビル名等は全角で入力し



てください。

住所は、必ず都道府県名から入力してください。

マンション、アパート等の場合、号棟、部屋番号、階数等は「住所」欄に入力してください。

「～条」となっている住所は、本人確認資料に「1条」と表記されていても、漢数字で「一条」と変換して入力してください。

丁目・番地・号及びマンション、アパート等の部屋番号は「-」(全角マイナス)で繋いでください。また、階数の階は「F」(全角)と表示してください。

アパート名、ビル名、様方等は「ビル名等」の欄に入力してください。

住所が外国の場合、郵便番号は「999-9999」(半角)とし、住所のはじめに「外国」と入力してください。ただし、「住所」欄に「外国」とのみの入力はしないでください。

住所が不明であったり、町名等までしか判明していないなど、不完全な住所しか把握していない場合は、「住所」欄は空欄としてください。

#### 【入力例】

##### 【集合住宅の例 1】

〒・住所 111-1111 県 市 町1丁目1番地1号 ハイツ101号室

郵便番号  住所   
ビル名等

##### 【集合住宅の例 2】

〒・住所 111-1111 県 市 町1丁目1番地1号 ハイツ2号棟101号室

郵便番号  住所   
ビル名等

##### 【ビルの階数の例】

〒・住所 111-1111 県 市 町1丁目1番地1号 ビル5階

郵便番号  住所   
ビル名等

【 集合住宅にアルファベットを使用している例 】

〒・住所 111 - 1111 県 市 町1丁目1番地1号 ハイツA201号室

郵便番号 111-1111 住所 県 市 町1-1-1-A-201  
ビル名等 ハイツ

【 様方の例 】

〒・住所 111 - 1111 県 市 町五条1丁目1番地1号 様方

郵便番号 111-1111 住所 県 市 町五条1-1-1  
ビル名等 様方

【 外国の住所の例 】

住所 1111 Avenue of the Americas, New York, NY 10000、U.S.A

郵便番号 999-9999 住所 外国 1111 AVENUE OF THE AMERICAS, NEW YORK, NY 10000, U.S.A  
ビル名等

**注: 緑字は全角とするもの、青字は半角とするものを表す。**

【届出理由】

「届出理由」欄に、「別添資料参照」などを入力する等、内容が簡単すぎる届出があります。このような場合、警察庁犯罪収益移転防止管理官や各捜査機関が届出情報を効果的に分析できない場合がありますので、「届出理由」欄には、最低限、下記記載例に挙げた事項等、疑わしい取引と判断した経緯について、箇条書きで結構ですので要点を入力してください。入力できる文字数は800文字(全角・半角でも同じ)です。なお、個別の取引の日付・金額・(被)仕向先等、「取引内容(別記様式第3号)」に入力した事項は、重ねて「届出理由」欄に列挙する必要はありません。

反社会的勢力に関するもの

反社会的勢力と認識した理由を簡潔に入力願います。

- 【例】
- ・ 暴力団 組と繋がりがあるとの風評がある
  - ・ 暴力団 組が経営している企業と繋がりがあるとの風評がある 等

日常の業務において把握した事項や取引の相手方の態度や人相風体など、些細なことでも気付いたことがあれば入力してください。

#### 反社会的勢力

反社会的勢力の明確な定義はありませんが、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針について(平成19年6月19日付犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ)」には以下の記載があります。

「暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団又は個人である『反社会的勢力』をとらえるに際しては、暴力団、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治活動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等といった属性要件に着目するとともに、暴力的な要求行為、法的な責任を超えた不当な要求といった行為要件にも着目することが重要である。」

#### 報道等による認知

- 【例】
- ・ 取引の相手方(顧客等)が 罪で逮捕されたと報道された
  - ・ 捜査中と報道されている者の家族(関係者)が高額取引を行った 等  
新聞等の掲載紙名、掲載日、捜査を行っている捜査機関名等も分かれば併せて入力してください。

#### 原資・用途先に関するもの

- 【例】
- ・ 年齢、職業に見合わない高額の取引があった
  - ・ 借名取引ではないかとの疑問が感じられた
  - ・ 購入直後のものを売却する取引を繰り返している 等

#### 【捜査機関等からの照会の有無、ガイドライン番号】

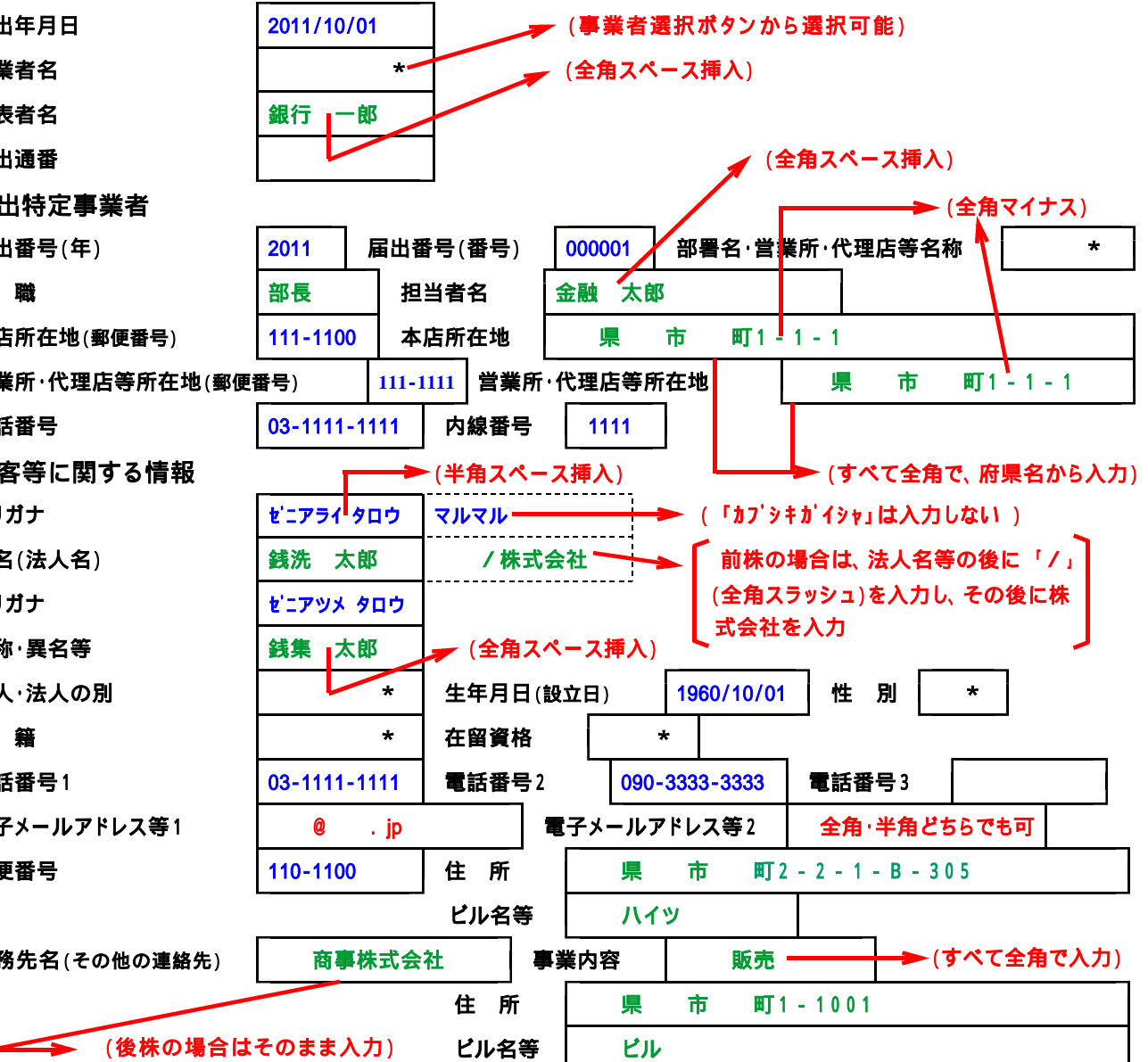
当該欄は、コンボボックスから選択してください。

#### 【備考】

参考となる情報を120字以内(全角・半角でも同じ)で入力してください。

## 届出票(別記様式第1号)ビュー

届出年月日	2011/10/01	
事業者名	*	
代表者名	銀行 一郎	
届出通番		
届出特定事業者		
届出番号(年)	2011	届出番号(番号) 000001
役職	部長	担当者名 金融 太郎
本店所在地(郵便番号)	111-1100	本店所在地 県 市 町1-1-1
営業所・代理店等所在地(郵便番号)	111-1111	営業所・代理店等所在地 県 市 町1-1-1
電話番号	03-1111-1111	内線番号 1111
顧客等に関する情報		
フリガナ	ゼニアライ タロウ	マルマル
氏名(法人名)	銭洗 太郎	/ 株式会社
フリガナ	ゼニアツメ タロウ	
通称・異名等	銭集 太郎	
個人・法人の別	*	生年月日(設立日) 1960/10/01 性別 *
国籍	*	在留資格 *
電話番号1	03-1111-1111	電話番号2 090-3333-3333 電話番号3
電子メールアドレス等1	@ .jp	電子メールアドレス等2 全角・半角どちらでも可
郵便番号	110-1100	住所 県 市 町2-2-1-B-305
		ビル名等 ハイツ
勤務先名(その他の連絡先)	商事株式会社	事業内容 販売
		住所 県 市 町1-1001
		ビル名等 ビル
届出理由	当該顧客が暴力団 組と繋がりがあることが判明したことから、口座の動きを調査したところ、多数の振込入金があり、本口座が犯罪に利用された可能性があるため、届出を行うもの。	
捜査機関等からの照会の有無	*	
ガイドライン番号	*	
備考		



注1: 緑字は全角とするもの、青字は半角とするものを表す。  
 注2: \*の欄は、原則、業者選択ボタンやコンボボックスから選択し、該当がないときは手入力する。

## (2) 口座等情報(別記様式第2号)

当該届出様式は、疑わしい取引を行った顧客等が疑わしい取引を認知した事業者と取引を行うに当たり、本人確認を行った書類の種別及びその書類番号の他、顧客の関係者である実際取引を行った者が顧客等本人ではなく代理人等が行った場合の代理人等や、顧客が法人の場合の代表者、取引担当者等の氏名、生年月日、当該顧客等との関係、住所、電話番号(連絡先)を入力するものです。

関係者についても本人確認書類がある場合は「本人確認書類の種別」、「書類番号」を入力してください。

### 【顧客等の本人確認欄】

「本人確認書類の種別」欄は、「届出票(別記様式第1号)」で入力した顧客等が取引又は口座開設等を行った際に、本人確認を行った書類の種類(運転免許証、各種健康保険証、外国人証明書、旅券(パスポート)、履歴事項全部証明書等)をコンボボックスから選択してください。また、「書類番号」欄には、書類に記載されている記号、番号等を入力してください。

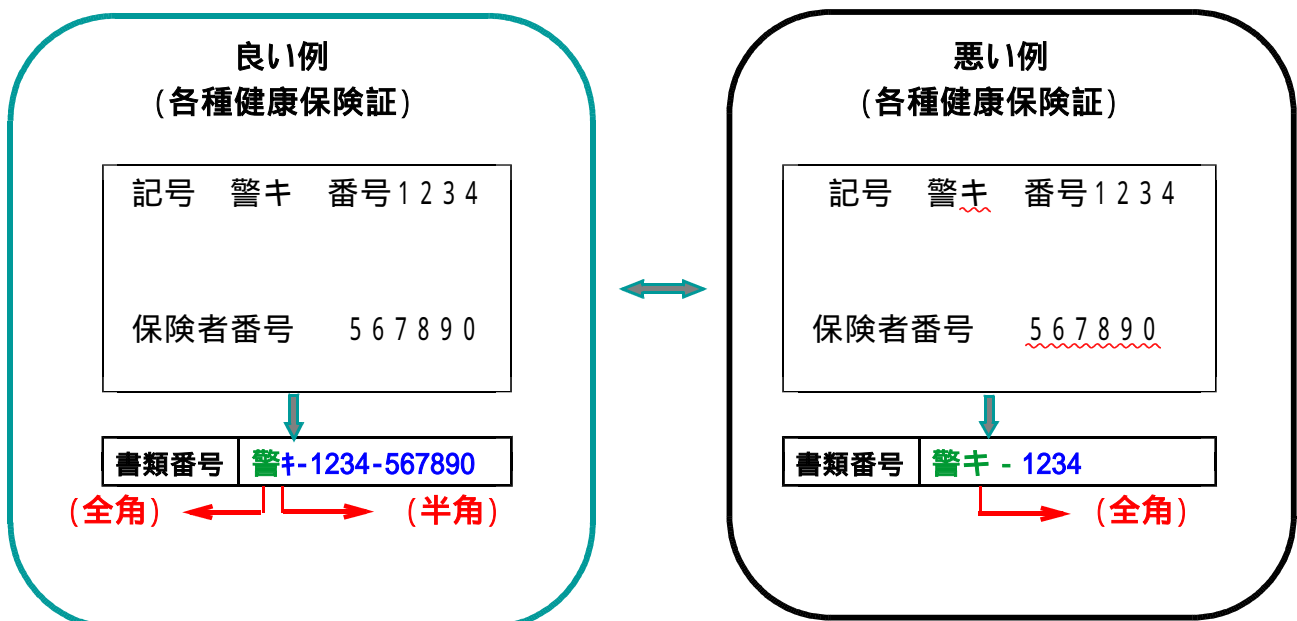
なお、漢字、かなは全角で、英数字、カタカナ及びマイナスは半角で入力してください。

各種健康保険証の書類番号は、記号、番号、保険者番号欄に記載されている文字・数字を半角マイナスで繋いで入力してください。なお、都道府県名や市区町村名は入力しないでください。

運転免許証は12桁の半角数字のみ入力して下さい。公安委員会の都道府県名や交付年月日右側に記載されている5桁の数字は入力しないでください。

外国人証明書及び旅券(パスポート)は記号と数字のみを入力してください。(すべて半角)

### 【入力例】



**良い例**  
(各種健康保険証)

記号 警 いる 番号 12 - 34

保険者番号 5 6 7 8 9 0

書類番号 警いる2-12-34-567890  
(全角) ← (半角)

(は半角で2と入力)

**悪い例**  
(各種健康保険証)

記号 警 いる 番号 12 - 34

保険者番号 5 6 7 8 9 0

書類番号 警いる -1234-567890  
(全角丸文字)

**良い例**  
(外国人証明書)

B 第 1 2 3 4 5 6 7 8 9 号

書類番号 B123456789  
(半角)

**悪い例**  
(外国人証明書)

B 第 1 2 3 4 5 6 7 8 9 号

書類番号 B 第 1 2 3 4 5 6 7 8 9 号  
(全角)

**良い例**  
旅券(パスポート)

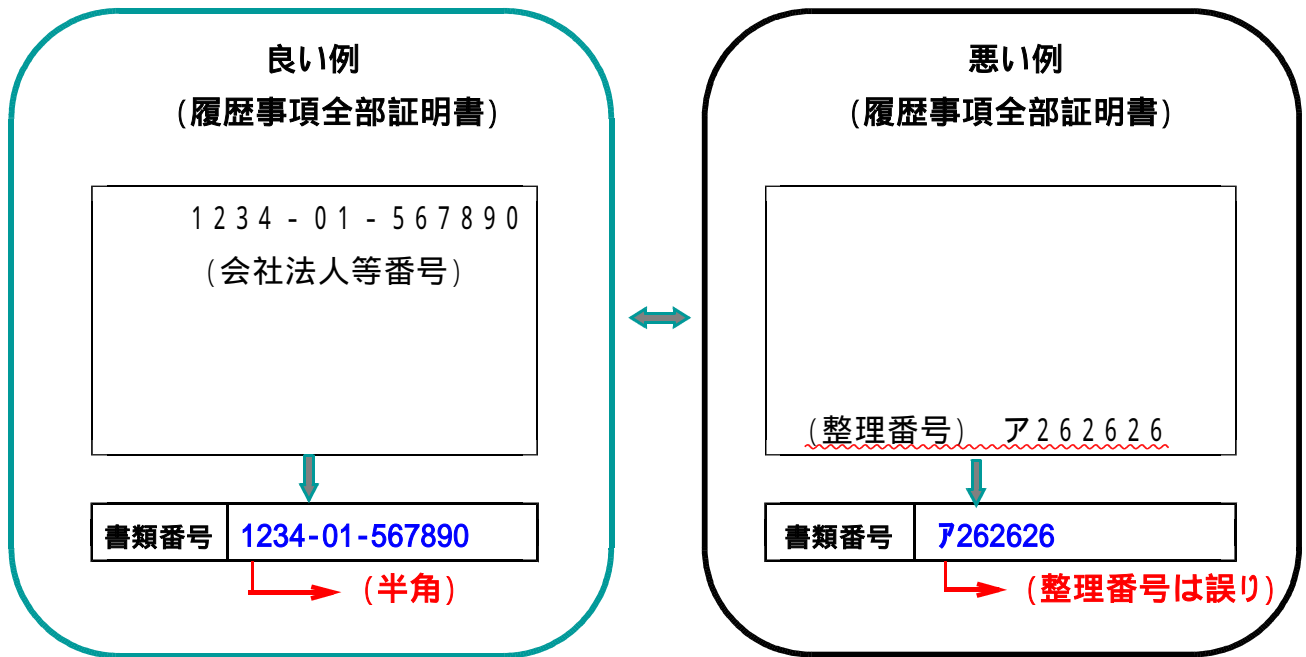
T Z 1 2 3 4 5 6

書類番号 TZ123456  
(半角)

**悪い例**  
旅券(パスポート)

T Z 1 2 3 4 5 6

書類番号 JPN-TZ123456  
(国名の入力は不要)



**注: 緑字は全角とするもの、青字は半角とするものを表す。**

本人確認資料(運転免許証、各種健康保険証、外国人証明書、旅券(パスポート)、本人確認記録(書式は問わない)等)の写しをできる限り添付してください。

**【代表者・取引担当者・代理人・その他関係者の本人確認欄】**

当該欄には、「届出票(別記様式第1号)」に入力した顧客等ではなく、顧客等に代わって取引をした代理人等の個人名を入力してください。

顧客等が法人の場合、その代表者や窓口に来た取引担当者等を入力してください。

関係者が多数いる場合は、必要に応じて「口座等情報(別記様式第2号)」を追加作成してください。また、取引自体は別個でも、同一グループによって関連取引が行われたと思われる場合(購入、名義変更、転売等が同一グループによって行われたと思われる場合等)は、顧客ごとに届出を作成し、各届出の本欄に同一グループの内の最低1名の氏名(法人名)及び生年月日を入力してください。

届出番号	000001	000002	000003	000004
氏名(法人名)	山田 太郎	鈴木 年男	鈴木 圭子	中山 寛子
生年月日	1971/08/09	1968/05/03	1982/09/02	1984/12/06
代表者・その他関係者の本人確認		山田 太郎	山田 太郎	山田 太郎
生年月日		1971/08/09	1971/08/09	1971/08/09
関連内容		同一グループ	同一グループ	同一グループ

生年月日の入力に当たっては、年は西暦を使用し、月、日が1桁の場合は頭に「0」を付し、年月日を「/」(スラッシュ)で区切ってください(すべて半角)。

性別、国籍、在留資格及び本人確認書類の種別は、コンボボックスから選択してください。

氏名(フリガナを含む)、住所、電話番号、郵便番号、書類番号等は、「届出票(別記様式第1号)」と同じ要領で入力してください。

#### 【継続的取引関係に関する事項欄】

「届出票(別記様式第1号)」に入力した顧客等に関し、口座等情報について該当があれば入力してください(届出作成プログラム利用の場合は、「口座等情報」を新規に作成のうえ、入力をする事となります)。

継続的取引関係の有無については、コンボボックスから「有」又は「無」を選択してください。

継続的取引を行っている特定事業者名称及び営業所・代理店等名称をコンボボックスから選択してください。ただし、該当のないときは手入力してください。

当該取引を行った取引開始年月日、取引(口座等)種類、顧客(口座等)番号、取引の申し込み方法等を入力してください。

なお、取引(口座等)種類、取引の申し込み方法は、コンボボックスから選択してください。

「顧客(口座等)番号」欄の入力は、カタカナ・英数字の半角で入力してください。

金融機関の場合は、顧客番号ではなく、口座番号(普通口座の場合は7桁、6桁以下の場合は頭に「0」(半角)を付けてください。なお、その他の口座はそのまま)を入力してください。

証券会社の場合は、証券総合口座を入力してください。

クレジットの場合は、クレジット番号を半角マイナスで繋がず、連続した半角英数字で入力してください。

開始年月日の入力に当たっては、年は西暦を使用し、月、日が1桁の場合は頭に「0」を付し、年月日を「/」(スラッシュ)で区切ってください(すべて半角)。



## 口座等情報(別記様式第2号)ビュー

<b>顧客等の本人確認</b>			
本人確認書類の種別1	*	書類番号1	警-1111-111111 (各種健康保険証の場合)
本人確認書類の種別2	*	書類番号2	B1111111111 (外国人証明書の場合)
本人確認書類の種別3	*	書類番号3	
代表者・取引担当者・代理人・その他関係者の本人確認1			
フリガナ	ゼニアライ ハナコ		
氏名	銭洗 花子		
生年月日	1960/10/01	性別	*
国籍	*	在留資格	*
電話番号1	03-1111-1111	電話番号2	090-1111-1111
電子メールアドレス等1	@ . jp	電子メールアドレス等2	
住所(郵便番号)	111-1111	住所	県 市 町2-3-4
		ビル名等	マンション
勤務先名(その他の連絡先)	建設株式会社 (後株の場合)		
事業内容	一般事務		
住所(郵便番号)	011-1100	住所	県 市 町3-10-5
		ビル名等	
本人確認書類の種別1	*	書類番号1	TH11111111 旅券(パスポート)の場合
本人確認書類の種別2	*	書類番号2	
代表者・取引担当者・代理人・その他関係者の本人確認2			
フリガナ			
氏名			
生年月日		性別	*
国籍	*	在留資格	*
電話番号1		電話番号2	
電子メールアドレス等1		電子メールアドレス等2	
住所(郵便番号)		住所	
		ビル名等	
勤務先名(その他の連絡先)			
事業内容			
住所(郵便番号)		住所	
		ビル名等	
本人確認書類の種別1	*	書類番号1	
本人確認書類の種別2	*	書類番号2	
<b>継続的取引関係に関する事項</b>			
継続的取引関係の有無の別	*		
特定事業者名称	*	営業所・代理店等名称	*
営業所・代理店等所在地(郵便番号)	111-1111	営業所・代理店等所在地	県 市 町1-1-1
取引(口座等)種類	*	顧客(口座等)番号	0012345
開始年月日	2000/10/01	取引の申込み方法	*
備考			

注1: 緑字は全角とするもの、青字は半角とするものを表す。

注2: \* の欄は、原則、業者選択ボタンやコンボックスから選択し、該当がないときは手入力する。

### (3) 取引内容(別記様式第3号)

当該届出様式は、顧客等又は代理人等が取引を行った内容等(取引形態、取引金額、(被)仕向((被)仕向国名を含む)、取引目的等)を入力するものです。

取引情報が複数ある場合については、「取引内容(別記様式第3号)」を追加してください。

#### 【重要取引】 印

顧客等との取引を複数記載する場合、最も注目すべき取引について、 印を1件だけ付けてください。取引が1件の場合には、その1件に 印を付けてください。

#### 【取引年月日】

取引年月日の入力に当たっては、年は西暦を使用し、月、日が1桁の場合は頭に「0」を付し、年月日を「/」(スラッシュ)で区切ってください(すべて半角)。

#### 【当該取引の取扱店】 特定事業者等名称～営業所・販売店等所在地

営業所・販売店等名称及び所在地は、実際に行なった支店、営業所、代理店、販売店等の名称及び所在地を入力してください。

継続的取引がA支店で行われていても、疑わしい取引がB支店で行われた僚店取引の場合はB支店を入力することとなります。

店舗所在地が外国の場合、郵便番号は「999-9999」(半角)とし、住所のはじめに「外国」の文字を入力してください。

クレジットカード等に係る取引の場合は、商品の販売、役務の提供等を行なった事業所、店舗の名称及び所在地を入力してください。

入力方法は、「届出票(別記様式第1号)」、「口座等情報(別記様式第2号)」に同じです。

#### 【当該取引に関する情報】 取引形態～その他(特徴等)

顧客等が送金し、又は顧客等に入金があった場合、その取引形態、方法、金額や手形、証券等の種別、番号等を入力してください。

取引形態は、窓口、訪問、インターネット、ATM等の種別、決済方法は、現金、口座振替、クレジットカード等の種別をコンボボックスから選択してください。

手形、証券、金地金等の動産等の番号は本人確認書類番号の表記に準じて入力し、不動産の地番は住所表記に準じて入力してください。

「その他(特徴等)」欄には、宝石のカラット数、デザイン、外国の有価証券等に関する特徴等を入力してください。

## 【預貯金口座・クレジットカードを利用して行われた場合】個人・法人の別～当該取引の際に使用した通称・異名等

銀行等を利用して取引が行われた場合、「届出票(別記様式第1号)」に入力した顧客等の相手方となった(被)仕向先(送金元(先))、氏名(法人名)、フリガナを入力してください。

氏名の入力方法については、「届出票(別記様式第1号)」と同じ要領で入力してください。

取引(被)仕向先(送金元(先))が行われた事業者の種別、名称(営業所・代理店を含む)は、原則、事業者選択ボタン又はコンボボックスから選択してください。ただし、該当名称等が表示されない場合は、手入力していただきますが、その際、外国金融機関名は半角アルファベットで、区切りごとに半角スペースを挿入してください。

顧客等が取引に利用した預貯金口座(仕向先等)、クレジットカード等の種別をコンボボックスから選択するとともに、当該番号を半角英数字で入力してください。

特に、クレジットカード番号は、カード上の表示はスペースで繋がっていますが、入力する際は、マイナス、スペースで繋がず、連続した英数字で入力してください。

**対外国の取引については預貯金口座、クレジットカードを利用して行われた場合以外であっても、当該記載欄に送金先(元)国名の記載をお願いします。**

なお、「送金先(元)国名」欄は、仕向送金の場合は送金先国名、被仕向送金の場合は送金元国名となります。

また、外貨の国内における取引については、送金先(元)国名を「日本」としてください。取引目的は、外国送金、不動産の売買等その目的を把握した場合に入力してください。

仕向先口座が凍結されており、資金返却された場合の仕向先口座情報を入力する際は、口座番号も必ず入力してください。また、振込め詐欺やヤミ金等の仕向先情報についても同様です。

## 取引内容(別記様式第3号)ビュー

重要取引	*		}	(重要取引)
成立・未成立	*			
取引年月日	2000/10/01			}
(取引年月日)				
<b>取引に関する事項</b>				
特定事業者名称	*		}	(当該取引の 取扱店)
営業所・販売店等名称	*			
営業所・販売店等所在地(郵便番号)	111-1111			
営業所・販売店等所在地	県 市 町1-1-1			
取引形態	*		}	(当該取引に 関する情報)
業務内容	*			
決済方法	*			
取引金額	10000000			
通貨単位	*			
両替後の通貨単位	*			
手形・証券、金地金等の動産の種別	*			
手形・証券、金地金等の動産の番号				
不動産の種別	*			
不動産の地番				
その他(特徴等)	5カラットの宝石			
個人・法人等の別	*		}	(預貯金口 座・クレジ ットカード を利用して 行われた 場合)
フリガナ	マルマル ジョウ			
(被)仕向先の氏名(法人名)	次郎			
銀行、クレジットカード会社等の種別	*			
銀行、クレジットカード会社等の名称	*			
SWIFTコード(前項を記述した場合)	10000			
営業所・代理店等名称	*			
口座クレジットカード等種類	*			
口座クレジットカード等番号	123456789101112			
送金先(元)国名	*			
取引目的	海外の家族に送金			
当該取引の際に使用した通称・異名等	一郎			
備考				

注1: 緑字は全角とするもの、青字は半角とするものを表す。

注2: \* の欄は、業者選択ボタンやコンボボックスから選択し、該当のないときは手入力する。